

「社会に役立つものづくり」～手作りベンチで休憩を～

県立熊本工業高等学校定時制

本校定時制では、生徒が切断加工・曲げ加工・溶接・組み立て・塗装など、実習で身に付けた技術を生かし、地域の皆様に役立つ「ものづくり」に取り組んでいます。

ベンチ製作は、生徒の「ものづくり」に対する意識を高めるため、平成19年度から始め、平成20年度からは毎年、熊本城総合事務所に寄贈(合計26脚)してきました。

本年度は、機械科4年の9人が1年がかりで「鉄製ベンチ(長さ2m)」6脚を、建築科4年の4人が3カ月をかけ「木製ベンチ(長さ1.5m)」4脚を製作し、熊本市動植物園に寄贈しました。

去る5月26日(月)に本校で行った贈呈式には、生徒13人、動植物園長、後援会会長、本校関係職員ら約25人が出席し、生徒を代表して田崎諒君が「これからも社会に役立つものづくりに励みます。」と挨拶。また、松崎園長様からは「来園客にとっても思い出のベンチになるよう大事にします。」とお礼が述べられました。

今後も本校定時制では、社会に役立つ「ものづくり」に励んでいきます。



平成26年5月26日「贈呈式」
寄贈した鉄製(左)と木製のベンチ



「ベンチ製作の様子」
機械科(左)・建築科(右)



「熊本市動植物園設置状況」
平成26年6月26日撮影

